夕刊　常磐毎日
発行所　平市田町75　常磐毎日新聞社　電話1210番
印刷兼発行人　吉田甫
編集

無許可で薬品販売
平市役所職組販店にメス

去る七月に開店して以来平未亡人会「むつみ会」売店とツバぜり合いを演じながら非難を浴びている平市役所職員組合売店に、無許可で薬品類を陳列して販売しているなどこれは明らかに、「薬事法違反」だと市内薬剤士側から強重な抗議がもち込まれ、所管平保健所でも捨ておけず調査の手を進めることになり成行きが注目されている。

薬事法違反か？
平保健所が調査に乗出す

陳列されている薬品は「クレオソート」「家庭薬」などで、取締主管役所である平保健所では早速調査の手を進めることになつたが、これに関して平保健所では次のように語つている

この種の違法は非常に多いが、中には知らずにやつている者が少なくない、市職組売店の場合は「法的」な事を辨えての上で行なわれているとすれば、多分正当な方法で行なわれているとは思うが、手数料をとつているとすれば正式な営業とみなされるからタツチしている薬局側にも責任があると思う、なお詳細に調べなければ今のところ何とも言えないが、問題の内容が微妙な状態なので、今のところなんとも申しあげられない、一個でも二個でも現金取り引きの上で売つた事実があれば、明らかに「薬事法違反」であるから速やかに登録しなければならない、またそうするように勧告する。

職組厚生部長談

市職組の広田厚生部長はこう言つている「薬事法によるやかましい内容があることは知つているので見本程度の薬を陳列して照介することだけにして、販売形式は全然とつていない、T薬局さんからのサンプルを陳列、欲しい者があれば薬局さんに照介して買つて頂くようにしているが、只一つ二つは緊急予備品として売つたことはあると思う、この程度なら差支えはないだろうと考えていた」

佐藤総務部長談

「職組の売店は利益目的ではなく飽くまでも市職員の厚生機関の一環として行なわれなければならないものであることを前提として開店されたものである、そのようなことはないとは思うが、若し違法な事実があるとすれば断固是正しなければならない、また是正させる。」

T薬舗談

「市職組側から薬品も店に置き度いと思うが、協力してほしいと要望されて加盟したのですがお互いにむづかしい規則があることも知つているし、違法にならぬよう照会して頂くことだけに留めておりますから違法ではないと思います」

傳チツマで競輪宣

平市競輪課では盛業の年の瀬を迎え、例年による競輪景気の挽落を安じて余すところ半月後に迫つた師走の本年最終の競輪に備え、市内有名商店約十五軒とタイアップして宣伝マツチ三万個を製作本年最終を飾る十二月の平競輪の誘客宣伝に乗り出すことになつた、十二月競輪は十一、十二、十三日並に十八、十九、二十の前後節六日間だが、商店側もこの機を利用して、年末の不況ピンチを切り抜けようと張り切つている。

ガソリンカー一日から運轉
水戸管理局で正式発表

平市を中心とするガソリンカー運転はいよいよ十二月一日から正式運転することに決つたと水戸管理局で発表した、車輌はすでに三台が平機関区に配車され十二日から三日間平ー小川郷間、十五日から二十日まで平ー赤井ー小川郷間及び勿来ー平ー富岡間の試運転を行つている。

十二月一日からの計画は

▽常磐線、平ー泉間三往復、平ー植田間一往復、平ー勿来間一往復、平ー久の浜間二往復、平ー富岡間二往復

▽磐越東線、平ー小川郷間二往復となつている。

作文教育の中間発表会

本年度から二カ年間の予定で国語科（作文）学習指導研究校に指定され、協力学校とともに研究をつづけて来た平第三中校では二十日午前九時から同校に於て「作文教育中間発表会」を開催することになつた、

発表会の要項は、

▽講師

県教委指導主事平山正秋氏、石城出張所長佐久間武善氏

〃指導主事高杉清寿氏

〃齋谷伸六郎氏

〃三瓶ひろし氏

▽研究授業

小学校五年平三中斎藤孝幸

中〃一年平三中斎藤孝幸

〃二年〃石井喜美雄

〃三年〃小谷陽子

▽研究発表並に発表者

◎本校研究概要について、

平三中斎藤孝幸

◎作文指導計画について、宮小横山チエ子

◎作文指導法について、平一中宇田哲雄

◎作文の能率的処理評価について、小名浜二小渡辺敬子。

救護物資を確約
キリスト教団欠食児童調査

十五日欠食児童調査のため来郡した国際キリスト教善仕団東京本部牧師ハラム・ショウネツク氏、武田牧師、森田牧師らは、常炭磐坂場事務局長らの案内で、内郷市白水地内入丸炭砿長屋の生活状況を視察。

長欠や欠食学童の最もひどい白水小校を訪れ、校長から児童の実情を聞いてびつくりしていた早速帰京の上援護物資の粉ミルクや万能食、衣類などを放出することを約束して帰京した。

地引組合に百万圓
水素の汚物補償決る

磐城市地引組合と小舟組合代表らは十二日午前十時市役所に立花市長を訪ね「日本水素が工場裏の海中に流酸汚物を放出することから附近の魚貝類や海草が死滅或は移転し、年々漁獲が少くなる、これは組合員の死活問題だから何とか善処してくれ」と陳情した。

陳情を受けた市当局では会社側に連絡、渡辺照務課長ら三名の出席を求めて工場、組合、市役所の三者で話合つた結果、取りあいず会社側から補償として百万円を組合側に出し、今彼の問題については組合側とその都度協議して実施することで即日解決した。

吹谷で下水工事を陳情

常磐市湯本吹谷代表御代富蔵氏より、吹谷地内公衆浴場「玉の湯」脇片側延長百米の下水溝工事請願書が提出された。

この請願書の下水溝工事は、本年三月に旧湯本町議会で可決されていたが、旧磐崎村との合併によりおくれていたもの。

盛況の琴とバレエの会

郡社会福祉協議会主催の「琴とバレエの会」は昼夜とも満員の盛況で、主催者側の資金造成運動は大成果を収めた、特別出演した藤原歌劇団のソプラノ歌手、平市飯野出身四家武子さんの歌に観衆はしばし魅了されアンコールの拍手がなりやまなかつた。

出生死亡

十四日届出

死亡＝北目町無職石山信雄（六）、中平窪字富貴内無職福田純子（三〇）、中平窪字高橋無職大頭賀キン（六二）。

天氣予報

明日＝東よりの風曇りで一時雨がふるが、遅くなつて北の風となり次第に晴間が出る。

明後日＝北西の風一時やゝ強く晴時々曇りの天気。

海上＝明日は風波がやゝ高くなり明後日もやゝ高くなる。

懸賞募集
作品

開店を記念して左記により文芸作品を募集致します

応募規定

一、川柳又は都々逸（何れにても可）
一、作品には銘酒「夢心」の文字を必ず織込んだもの
一、用紙はハガキ或は封書を用い一人で多数応募するも可但し題目別毎に別紙に記入のこと
一、締切　十一月二十日（当日消印有効）
一、発表　十一月三十日
一、発表　三和新報　常磐毎日新聞紙上
一、賞品（各題目別に）
一席　夢心　一級酒（一升）　金一封名入徳利
二席　〃　二級酒（一升）　金一封名入徳利
三席　金一封名入徳利
一、審査　三和新報　常磐毎日新聞社
一、応募先　平市中央通り

酒蔵　夢心　電話一四三一

◎女店員募集　若干名　二十二、三才迄住込み

お食事のデパート
出前迅速
不二屋
電八八六　一七五〇

白銀町通りの舗装
年度中に着工の見通し

平市では復興事業が今年度で打ち切られるので、そのけい続事業である▽平駅前道路の舗装工費四百万円▽十五丁目―御まや線の舗装巾員二十四米、延長九百五十米、工費二千万円▽十五丁目―塩線の改良、巾員十八米、延長一千五百四十米、工費一億八千万円▽小太郎町―谷川瀬線の橋梁永久橋建設巾員二十米、延長五十米、工費七千万円などを。

特別都市計画五カ年けい続事業として三十年度から施行すべく運動を進める一方、来平した小沢建設大臣、高谷都市建設課長らに陳情を行っていたが、このうち懸案の駅前白銀通りの舗装は今年度中に着工出来る明るい見通しとなった。

なお平市ではこの外復興事業の今年度終了で取り残される▽長橋地内側溝工事二カ所▽佃町地内の側溝工事▽新川の護岸▽堂の前地内の下水工事など六カ所の工事について県が引続き失対事業として施行してくれるよう十七日土木課長らが出県して陳情することになりその成果が期待されている。

供米割当を協議
平地区の各個人別数量

平市では過日決定された平地区に対する二十九年度の産米割当に準じて明十七日午前九時から公会堂日本間に農業委員を招集、平地区供米割当会議を開き生産者別の割当数量を決定、同日午後一時から同じく日本間で開かれる各部落農業班長会に諮り、正式割当数を決めることになつた。

今年度の平地区割当数量は予想外の平年作を見越し二、〇七三石＝五、一八二俵半＝と昨年の七割八分増しの供米数を計上されたが、これでもなお、一昨年の二、四六三石よりは三九〇石も下廻る割当となつている。

なお高久地区は十八日、豊間地区十九日にそれぞれ午前九時から開かれることになつているが、飯野方部は同日行われた。

常磐市議会
廿五日開催さる

常磐市議会第七回定例市議会は二十五日午前九時から同市湯本公民館で開かれるが、提出される議案は、専決処分の報告のほか

◇市議会議員選挙区設置条例の件
◇市職制定の件、
◇市職員の職務に専念する義務の特例に関する条例設定設定の件
◇市職員の職務の責務に関する条例設定の件
◇市職員の懲解の手続及び効果に関する条例設定の件、
◇市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例設定の件、
◇清掃法条例設定の件、
◇手数料条例一部改正の件、
◇土地買収について
◇常磐市選挙管理委員会の選挙について。

なお、今度の市議会には佐伯政夫氏の助役就任の件が上程されるかどうか未定である。

教育合同会議

菊多小、中校長、教育長合同会議は二十日錦町公民館に開き、左記事項の審議及協議する。

▽学校内規案の審議、▽旅費支給基準の設定▽教育予算▽地区視聴覚教育連盟の結成。

常磐と日立
本年最終試合

常磐炭砿野球部では今年度全日程の最終戦として関東の曲者「日立製作」を招き、十三日午前十時から、金坂、浅貝両球場でダブルヘッダーを挙行、第一試合は両軍ともよく打ち、果敢な打撃戦を展開したが、日製が打ち勝つて七―六で第一試合を握つた、▽バッテリー（常）上面、久保―涌田、森田（日）平沢、原、滝地―水沢。

第二試合は午後二時から浅貝球場に約二千の観衆を集め、常磐大沢、日製滝地の先攻で開始、両投手の好投で一点を争うシーソーゲームとなつた、八回二死出沢兄のタイムリーヒツトで決勝の一点をあげ一対〇で雪辱した、▽バッテリー（常）大沢―森田、（日）滝地―水沢。

父兄の温い美挙
通学道路にサクラを植樹

常磐市長倉小学校の今年度入学生百五十名の父兄達が同校通学道路に桜の苗木五十本（五千円相当）を植樹した、同じく同校六年生百五十名は卒業記念として、テント（二万五千円相当）を寄附した。

常磐市で
税金懇談会開催

常磐市青色申告者協会（会長畑為七氏）では十八日午後一時より常磐市公民に於て仙台国税局徴収部長、平税務署長、直税課長等を招き、青色申告協会員、商工会員市役所吏員が参加して懇談会を開催する。

創立十周年記念
磐農高校で廿七日文化祭

県立磐城農業高等学校では二十七日が創立十週年記念日に当るのでこれを記念して廿七、八の両日文化祭を挙行して記念式典を催す。

同校の発足は昭和十九年に平市城山に在つた官立学校を仮校舎として発足、当時は百名前後の生徒だつたが其の後植出実科女学校を併合して二十四年現在の磐城農業高校となつた、その間勿来分校が独立校となり、現在は上遠野分校が設定されている初代校長は田附一郎氏（昨年死亡）二代、鈴木宇志三氏（現東白河農校長）三代、小池元吉氏（現相農校長）現校長の高橋猛先生が四代目である。

常磐演劇部
演劇祭に出場

十一月二十一日郡山市「みどり座」で開催される労働者演劇祭に常磐炭砿演劇部では「かんじんの歌」の演名で県大会に出場する事に決定、職員クラブで猛練習をして大張切である。

磐城市役所で
配給替え受付

磐城市役所では主食配給登録店の希望登録替えを十七日より十九日まで受付けている。

顔に手をふれたら
夫でない知らない男

十五日午後十時三十分ごろ常磐湯本字辰ノ口常磐炭砿湯本砿六坑採炭夫山田利夫さん（三七）の妻あき子さん（三八）＝いづれも仮名＝が夫を三番方に送り出したあと、床に入つてねむろうとしたとき、表戸をあけて怪漢が侵入、同女のふとんにもぐり込んで来たが、何かの都合で出勤せず帰つたものと思つたあき子さんが男の顔に手をふれた途端、全くの別人であるのに驚き、大声をあげたので痴漢は目的を果さず逃走した、常磐署では夫の不在をねらつたこと、子供もいないことなどから、常磐署では夫の不在をねらつたこと、子供もいないことなどから、常磐署では夫の不在をねらつたこと、子供もいないことなどから